

令和元年度一休さん児童発達支援事業所における自己評価表

(令和元年12月実施分) 【回収率100%】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	60%		40%	・子ども達がからだを動かす活動の時は狭いと感じることがある ・スペースはあるが各部屋で仕切られており、その点は使用しにくい
	2	職員の配置数は適切であるか	60%	40%		配置基準より常に多くの職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	20%	60%	20%	トイレが狭く、支援や介助がしづらい。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		80%	20%	なかなか時間がしっかりと取れない為、しっかりと時間を作って全員で話し合いが行える様にしたい。 業務改善にあたり、問題点の抽出・改善の実行等出来ていない。背景には日々の業務の役割分担が出来ていなかったり話し合いの場が少ないと感じる。→改善目標①
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	80%	20%		H28年度より保護者向けアンケートを実施し、業務改善につなげている。
	6	保護者のアンケート調査結果を事業所の会報等で保護者にフィードバックしているか	100%			全ての保護者にアンケート結果を配布している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	第三者による外部評価現在行ってないが、今後必要に応じて実施を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・児童虐待防止啓発講演会【11月】（1名参加） ・令和元年度強度行動障害支援者養成研修【9～10月】（1名参加） ・令和元年障がい児通所支援事業所等交流会【9月】（1名参加） ・令和元年障がい児通所支援事業所等交流会【1月】（2名参加） ・令和元年度発達障がい児等心のネットワーク研修会（5名参加） 常勤・非常勤問わず可能な限り参加を呼びかけている。また事業所内研修についても感染症対応について等実施している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			計画期間ごとにモニタリングとアセスメントを行った上で個別支援計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40%	60%		統一したアセスメントシートを使用しているが、シートの内容については改善・見直しの必要がある。→改善目標②
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	60%	40%		・職員間で案を出し合いながら活動プログラムを作成している。 ・「地域支援」の部分が弱く感じる。
適切 な 支 援 の 提 供	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	80%	20%		児童発達支援管理責任者が中心となって、複数名の職員が関わりながら活動プログラムの立案と実施に当たっての準備を行っている。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			個別支援計画には個別・集団それぞれの課題を組み込んでいる。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	80%	20%		活動プログラムについては、個別・集団を組み合わせながら「全身運動的なあそび」「感覚あそび」「造形あそび」等を中心に、固定化しないように配慮しながら立案を行っている。また、子ども一人一人の発達の段階に合わせて内容を変更するなどの対応も行っている。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%		20%	朝礼を日次で実施し、前日の子ども達の様子や当日の保育内容などについて職員間での情報共有を行っている。また、保育終了後、記録を行なう際等にも振り返りや保護者からの伝達等の情報交換を行っている。

	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	20%		朝礼を日次で実施し、前日の子ども達の様子や当日の保育内容などについて職員間での情報共有を行っている。また、保育終了後、記録を行なう際等にも振り返りや保護者からの伝達等の情報交換を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	80%		20%	半年に1回、保護者との個別面談を実施し、モニタリングを行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			現在、手書きのカルテで、記録の作業に時間をとられている。記録の検証はしているが、改善につながっているかは検証が必要。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			児童発達支援管理責任者が出席している。
関係機関や保護者との連携	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	40%	60%		必要に応じて地域担当の保健師や相談支援専門員と情報交換を行い、連携した支援を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	60%	40%		医療ケアが必要な場合は、事前に主治医より情報提供を頂き、協力医療機関である法人病院の小児科医が診察し、緊急時に備えている。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	40%	60%		特別支援学校については、入学前に文書で支援内容等の情報を提供して情報共有に努めている。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20%	60%	20%	専門機関が主体となって開催する研修会には可能な限り職員を派遣し、研修の機会を作っている。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	60%		40%	年に3回さつまいもの苗植え・収穫等で近隣の保育園との交流を毎年行っているが、子ども同士の交流は出来ていない。一緒に遊んだり製作等を行う機会をつくっていききたい。→改善目標③
	25	地域の社会資源を積極的に日々の活動に取り入れているか	20%	40%	40%	年長児のみの利用日については、地域の社会支援を取り入れた活動を行っているものの、全体的には少ないと感じるが、今年度は、地域の方々のご協力の下、法人の所有する畑で子ども達と野菜を育て、収穫をする体験をスタートさせた。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			連絡帳や保護者のお迎え時等に、その日の様子を知らせたり、家での様子を伺うなどしている。しっかりと共通理解を持てる様、積極的に保護者とのコミュニケーションはこれからもっていききたい。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	20%	60%	20%	ペアレントトレーニングとして専門的な支援は行っていないが、それに向けての提案・支援ができる様、努めているつもりである。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%		契約時に書面にて説明を行い、変更があった場合には都度説明を行っている。また、事業所内に重要書類を掲示している。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%		随時面談や電話等の方法で相談に応じている。
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	80%	20%		1～2ヶ月に一回、保護者のお茶会を催し、保護者同士の交流の場として支援している。また、今年度も就労支援事業所の見学会や講師の方をお招きしての座談会等も開催した。しかし、参加する保護者が限られているので、また別の機会もあってよいのではと感じる。

	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			事業所内に苦情受付・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整え、頂いた苦情については迅速に対応している。
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			月に1回広報誌を作成し、情報発信を行っている。
	33	個人情報に十分注意しているか	100%			個人情報が記載された書類は全て職員室にて厳重に保管し、個人情報が記載された文書を処分する場合は必ずシュレッダー処理を行っている。
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%		文書や電話、メール等様々な方法で確実に情報伝達を行っている。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%	事業所が狭い等の課題も多く、現状としては行えていない。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			防災マニュアル、緊急時対応及び感染症対応マニュアルに加えて、今年度は防犯マニュアルを策定した。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	80%	20%		定期的に地震・火災・水害の非難訓練を実施している。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80%	20%		毎年市が主催する虐待防止研修会に必ず職員をローテーションで派遣し、職場内研修も毎年実施している。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		80%	20%	過去6年以上現在に至るまで身体拘束を行った事例がないが、今後も虐待防止研修会参加職員からのフィードバック研修を確実に実施し、万が一に備えていく。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40%	60%		アレルギー対応が必要な場合は、事前に主治医より情報提供を頂き、協力医療機関である法人病院の小児科医が診察し、アナフィラキシー等の緊急時に備えている。また、食養課の管理栄養士とも情報共有を行っている。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	60%	20%	20%	ヒヤリハット報告書綴りを作成し、常時職員が閲覧できる様にしている。

【改善目標①】 各職員の役割分担を明確にし、可視化することで、それぞれが自覚を持って業務に携わることができるようにする。また、来年度より幼児クラスと学童クラスそれぞれに分かれてのミーティングの時間を確保し、より密に情報の伝達や共有を行っていただける仕組み

【改善目標②】 来年度より標準化されたアセスメントツールとして『子どもの発達を支えるアセスメントツール』を導入することを前提とした学習会を全職員で定期的かつ継続的に行っていく。

【改善目標③】 子供同士があそびを通して関わることを目的とした交流を定期的に持てる様、来年度は同じ法人内の保育所に協力をお願いしながら、実現させていく。